

第1回松本城・城下町写真エッセーコンテスト

佳作 「松本城と私」 渡部 玲子



松本城と私

若い頃の私にとっての松本城は
単なる信州観光の起点にしか
考えなかった。
千葉県人だった私。
信州が大好きで、
山が大好きで…
松本城はその初めの一步でしかなかった。



主人の転勤で、松本に住むようになり、
松本城の前をよく通るようになった。
歩いて、自転車、車で…
その時々に見る松本城は、不思議なことに、
いつもその表情が違う。 どうしてだろう…
私の気持ちでも違い、季節の移り代わりでも、
晴れた日、曇った日、雨の日もそれぞれ表情を変える。
そんな松本城が私は大好きになっていく。

機会あるごとに、松本城の顔を拝見しに行く。
青空の下で、凛として建っている松本城は
凛々しくてかっこよかった。
「今日の君はイケテルよ！」
「今日は嫌なことがあったけど、
君の姿を見て、また頑張ろうと思う。」
こんなことを思っただけで通り返っていく。

松本城は私の元気のよさも知らない。

平成18年秋